

プレゼンテーション I

単位数	2 単位	対象学年	2 学年	対象コース・クラス	チャレンジB
使用教科書		副教材等			

1. 学習の到達目標

- ・情報を適切に管理・分析し、活用する能力と態度を身に付ける。
- ・コミュニケーションやプレゼンテーションの基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
- ・コンピュータを活用することの重要性について理解させるとともに、情報を適切に処理し計画的に役立てる能力と態度を身につけ、日本情報処理検定協会が主催する各種検定試験の受験を目指す。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

- ・コンピュータを道具として活用し、さまざまな情報の収集と発信を行いながら、情報の活用法を身に付ける。また文書作成や表計算、プレゼンテーションソフトなどの操作技術について学び、パソコン操作の基礎知識（リテラシー）を身に付ける。
- ・情報技術に関する基礎的な用語・概念などの知識、及び論理的な思考力を養う。

3. 学習上のメッセージ

- ・実習が中心の科目である。
- ・他の科目とは違い、個人差が出てしまいがちな科目であるため、予習・復習をしておくのが望ましい。
- ・日本情報処理検定協会主催の各種検定試験 3 級以上合格のために努力しよう。

4. 評価の観点・方法（年間の評定）

評価は次の 4 つの観点から行う。

関心・意欲・態度	情報処理機器による業務の処理に興味を持ち、これを活用するための演習に積極的に取り組むとともに、日常の問題解決にこれを活用しようとしている。
思考・判断	問題を分析して、適切な表の形式や関数を選択し、問題解決に必要な表を作成することができる。
技能・表現	データの入力やワークシートの編集などの基本的な操作ができる。 統計、検索、日付などの基本的な関数が操作できる。
知識・理解	情報処理機器の特徴ならびに、ワークシートの構成や機能を理解している。 情報処理機器における数値・文字などのデータや計算式の取り扱いを理解している。

評価は具体的には次のものを対象とする。

- ①出席状況や授業における学習態度を評価する。
 - ②課題の提出状況や仕上がり具合を評価する。
 - ③実技試験を評価する。
 - ④検定試験（意欲的に受験する）も評価に加える。
 - ⑤広島桜が丘高校の生徒として規則に則った服装での学習活動への参加状況。
- 1 年間の評定は、年間を通じて、総合的に判断して決定する。

5. 学習内容と評価について

単元名	指導内容と評価のポイント
オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習や経験を通して身に付けた生徒の知識や技能等の調査を行う。 パソコンの基本操作に習熟する。 日本語等の入力、ファイル操作等に習熟する。 タイピング(ホームポジション)練習。
情報活用とメディア メディアの種類と 特性	<ul style="list-style-type: none"> 情報の定義、メディアの定義と分類を理解する。 メディアの特性を理解する。 情報伝達技術を歴史から理解する。 情報伝達の方法と種類を理解する。 タイピング(ホームポジション)練習。
コミュニケーション の基礎	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの定義と意義を理解する。 コミュニケーションの種類と特性とともに隔たりを理解する。 個人間のコミュニケーションの技法の種類と特性を理解する。 集団で行われるコミュニケーション技法を理解する。 タイピング(総合入力)練習。
情報の表現 文書による表現	<ul style="list-style-type: none"> わかりやすい文書の作成技法を身に付ける。 文書の基本的な構成を理解する。 ワープロソフトを利用して、チラシ、定型文書、報告書等をわかりやすく作成する。 作品を発表し、相互に評価する。
図解による表現	<ul style="list-style-type: none"> 図解の意義を理解する。 図解の種類と特性、活用場面を理解する。 表計算ソフトを利用して、さまざまな表やグラフを作成する。 作品を発表し、相互に評価する。 タイピング(総合入力)練習。
音による表現	<ul style="list-style-type: none"> 音声および音楽データの特性を理解する。 音のデジタル化のプロセスを理解する。 音楽編集ソフトを利用し、取り込んだMIDIデータを編集する。 作品を発表し、相互に評価する。 タイピング(総合入力)練習。
画像による表現	<ul style="list-style-type: none"> デジタル画像の意義と特性を理解する。 具体例を示しながら画像ファイルの種類と特性を理解する。 グラフィックスソフトを利用して画像データの修正、加工を行う。 ペイント系ソフトを利用して画像の作成、加工を行う。 作品を発表し、相互に評価する。
動画像による表現	<ul style="list-style-type: none"> 映像の種類と特性を理解する。 動画ファイルの種類と特性を理解する。 作品を発表し、相互に評価する。 タイピング(総合入力)練習。
プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションの意義と活用例を理解する。 全体の流れ(内容の決定、発表準備、リハーサル、本番、フィードバック)を理解する。 聞き手調査と分析、情報収集を行い、内容を決定する。 プランニングシート、ストーリー記述シート、プログラムシートを作成し、プレゼンテーションプログラムを立案する。 配布資料、視聴覚資料の作成を行う。 リハーサルを行い、チェックして本番での修正点を明確にする。 話し方、態度、発問や応答、服装、会場確認を考え、プレゼンテーションのポイントを理解する。 ホワイトボード、OHP、コンピュータとプロジェクタ、ポインティングツールなどのプレゼンテーションツールの特徴を理解する。 プレゼンテーションソフトを起動し、スライドを作成する。 表現力を高めるために、図解の利用やアニメーションの設定を行う。 配布資料、発表者用資料を作成する。 リハーサルを行い問題点を明らかにし、スライドの修正を行う。 アンケート作成の基本を理解する。 実際にアンケートを作成し、集計を行う。

プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの意義と活用例を理解する。 ・全体の流れ(内容の決定, 発表準備, リハーサル, 本番, フィードバック)を理解する。 ・聞き手調査と分析, 情報収集を行い, 内容を決定する。 ・プランニングシート, ストーリー記述シート, プログラムシートを作成し, プレゼンテーションプログラムを立案する。 ・配布資料, 視聴覚資料の作成を行う。 ・リハーサルを行い, チェックして本番での修正点を明確にする。 ・話し方, 態度, 発問や応答, 服装, 会場確認を考え, プレゼンテーションのポイントを理解する。 ・ホワイトボード, OHP, コンピュータとプロジェクタ, ポインティングツールなどのプレゼンテーションツールの特徴を理解する。 ・プレゼンテーションソフトを起動し, スライドを作成する。 ・表現力を高めるために, 図解の利用やアニメーションの設定を行う。 ・配布資料, 発表者用資料を作成する。 ・リハーサルを行い問題点を明らかにし, スライドの修正を行う。 ・アンケート作成の基本を理解する。 ・実際にアンケートを作成し, 集計を行う。
ネットワークを活用した情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・電子コミュニケーションの意義と特徴を理解する。 ・ネットワークとインターネット, その基本的な技術を理解する。 ・電子メールの仕組みを理解する。 ・情報検索の種類と仕組み, その活用について理解する。 ・Webページを作成し, 相互に評価する。 ・電子メール作成上の注意点を理解する。 ・情報モラルと関係する法律を理解する。 ・タイピング(総合入力)練習。
2 学期期末試験	
情報の管理 ドキュメンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメンテーションの定義と重要性を理解する。 ・ドキュメントを共有する大切さを理解する。 ・ドキュメントの種類と構成について理解する。 ・身の回りのドキュメントを調べてみる。 ・実際にドキュメントを作成し, 相互に評価する。
情報の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイリングの定義と手法について理解する。 ・セキュリティについて理解する。 ・情報セキュリティについて理解する。 ・学校や社会のセキュリティについて調べ, まとめる。 ・個人情報の大切さを理解し, 関連する法規の理解を深める。 ・その他の情報の管理に関連する法規について理解する。
コンピュータによる情報の管理と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフト等を用いて, 情報を管理する手法を理解する。 ・身の回りの情報化について意識し, 将来を考察する。 ・社会の情報化について理解し, 将来を考察する。 ・これからの情報社会に向けて必要なことを理解する。
学年末試験	

